



## 2018年12月 やいろ鳥の会 (第147回) 活動と例会のご案内

やいろ鳥の会 会長 坂本 勲  
HP <http://khj-yairo.org/>  
E-mail ja5cin@arion.ocn.ne.jp



いよいよ平成30年も最後の月になりました。今年は何でしたか？

12月は家族サロンと親講座が設定できませんでした。年々会場を押さえるのに苦労します。お手伝いいただける会員さんがいると大変助かりますのでご連絡下さい。

### 第13回全国大会

10月10日-11日と広島で開催されました。高知からは5名が参加しました。5つの分科会にはそれぞれ1名ずつ参加しました。報告は同封の資料を見て下さい。参加者280名で北海道から沖縄までの家族、支援者が集いました。

今大会での印象は若者がどんどん元気になってきているように感じました。全体会最後のまとめの会の時、中国地方の若者が全参加者に向かって「ひきこもりの良いところを上げて下さい。」と言いました。これは自分に対する自信が無ければなかなか言えるものではないと思います。

高知からの参加者は大会参加者と繋がりを作りこれからの活動に活かそうとしていました。特に、宿毛市の会員が愛媛県の親の会と繋がり、高知の幡多圏域と愛媛の南予地域が活動と情報を共有できるようにとのことでした。両地域は地理的に活動が大変なので、お互いが協力して取り組むことができれば良いことだと思います。



開会前の全体会場のようす。この後人数が増えて椅子を運び込むのを手伝いました。大会宣言は同封します。来年の全国大会は初めて北海道に会場を移します。10月12-13日とのことですが、北海道の10月は寒いでしょうかねえ。

## 2018.11.25 生き方シンポジウム in 大阪

KHJ 家族会としては初めての取り組みですが、就労でも寄り添いでもなく生きる一人一人の生き方そのものを大切にするという企画です。誰だって生まれたときからひきこもっている訳ではないのです。必ず語るべき人生をもっている筈です。そして、ひきこることのなかに人間として大切な何かがあるのかもしれない。

パネリストは30代から74歳の高垣教授まで実に多彩でした。夫婦で登壇した方もおいでました。



参加者130名、家族と若者半々といったところでした。自分の人生を15分で語るのは至難の業でしたが、何とかまとめました。参加しての感想は私の中で何かがパチンとはじけたように感じました。今度は首都圏で開催したいとのことでした。



会の運営スタッフと11人のパネリストの写真。KHJ 家族会以外の家族会の方々も参加していました。その人たちはKHJの存在を知らなかったようで、ちょっとビックリさせられました。もっと全国家族会連合会の宣伝が必要なのかと思いました。

## KHJ 本部事務局(上田さん)からの生き方シンポジウムのレポート

自分らしい生き方シンポジウム in 関西、11月25日(日)に満員御礼で終わって。参加していただいたみなさん、ほんとうにありがとうございました！残務もあるのですが、今日というか昨日？はぐったりモード。

でも、しみじみと、ほんとうに、やれてよかったなあ。

みなさんとやれてよかったなあ。贅沢すぎる時間だったなあ。

支援や就労や回復の話は脇に置いて、もっと大切なものってあるんじゃない？の問いかけから発した。「KHJさんがそういうことするのは珍しいと思って来ました」

世間や常識にとらわれ、自分が本当に何を感じているか、何を大切に生きていきたいかを見失いがちな家族さんは多い。家族の期待に本人も苦しむ。家族会から発信していく意味を感じて進めてきた。初の試みの船出だったけれど、たくさんの方の力を借りながら、一步一步実現できたシンポだった。

●第一部の音楽パフォーマンス。

たなかきょうさんと、おーまきちまきさんの歌。からだの芯に触れて、心が震えて、耳の奥から全身に体温が流れる。

やっぱり大好きだなあ。「家族になろう」の名曲も。演奏後、すぐにCDを買いに行く歌好きの本人さんの姿があった。

●第二部の今を語る。

10名の出演者さんに15分で自分の生きざまを語ってもらう。

その人が生きて、湧いてきた思い。立場や肩書でなく。

専門家のレジュメが束になっても、ひとりのストーリーに勝るものはないと私はおもう。

心理臨床家の高垣先生は、その日は「高垣さん」になった。

「自分語り、病みつきになりそうやわ。でも74歳まで生きてきたんだから、3時間は欲しいわ」(ですねー)

今の自分の言葉、等身大の言葉で、話して下さった出演者のみなさん。ほんとうに素晴らしかった。

●二部の途中で、あるお母さんが不安そうな顔で受付に駆け込んできた。

「子どもに〜した方がいいって、解決方法が欲しくて来たんだけど、(ここは)違う。話しが耳に入っていないくて、苦しい」何かの答えがほしい、誰かに助けてほしい、苦しくて、いっぱいいっぱいの家族さんだった。「でもよくいらしてくださいました」。どこにも繋がっていなかったけど、勇気を出して来られて家族会につながった。

自分で感じたり考えたりする心のゆとりが無いときほど、自分ひとりで抱えてしまっている。そんな家族さんは、たくさんいる。まず誰かに話しをたくさん聴いてもらえる場所、その家族さんに応じたいろんな場所を作っていけたらいい。

●シンポも、本人さんも、いろんな形で参加ができた。自己表現スペースでは、会場に来れない方の作品も展示。その他、バルーンさん、マッチ箱アートさん、体験しながら、楽しみ遊び童心に帰るひとときも♪

「表現」を通じた出会い、よかったな〜。

●8月中旬の準備委員会発足から、いろいろありつつ、ダメ出しや、課題も見えつつ、でも、それら丸ごとひっくるめて、よかったな〜と思える、、、今の自分でよかったな。。

×                    ×                    ×

※出演者のみなさんが出演してみたの感想を語られました。

一部紹介です。私個人が印象に残った言葉の抜粋なので、

個人投稿としてタグ付けでシェアです。

竹内さんの小気味いい名司会で出演者の本音も小気味よいー。

○泉奈那さん、翔さん

「夫婦でこのテーマを考えさせてもらってよかった。心が豊かになった〜。でももう出るのは最後ですー」

○上谷桂子さん

「自分の中にある、外向けの顔じゃないものを、感じることからかな」

○児島さん

「まだ何もなしていないし、夢みたいな話をしただけだったけど。聞いた人がどんな風に思うのか知りたい」

○坂本さん

「不特定多数の前で自分のことを話すのは初めてで、まったくの不完全燃焼。

自分に気づくエンカウンター・グループのには2泊3日かけた」

○鈴見咲さん

「自分がこれまで、どんなことを考え抜いて生きてきたか、再確認することができた」

○白石さん

「ひきこもっていて、情報が遮断されていたから、他の人がどう生きているのか、すごく知りたかった」

○高垣さん

「自分の人生を振り返るときに、たくさんの我と汝の関係があって、自分のはっきりしなかったものを確認させてくれた。汝と一緒に出演したい」

○谷さん

「(人前で出て話すことは)苦手なんだけど、でもやってみたいという自分もおって、やってみた」

○林さん

「活動や事例とかはしゃべるのが得意なんだけど、自分のことは、ホントしゃべれんなと思った。自分は何でこの活動してるんかを振り返るいい機会になった」

○日花さん

「誰かにわかってほしかった。私も居場所が欲しかったんだなって言いたかった」

ありがとうございました！

\*\*\*\*\*

## 「農福連携を実行に移す会」が開催されました

11月27日にファイナンシャルプランナーの石川さんの主催で、南国市社協で有志を集めて開催されました。とにかく高知市や南国市でも農福連携を進めていこうという事になりました。県中央部での農福連携の第一号誕生に向けて頑張ることが確認されました。



熱い心をもった農家さんがいるので心強いですね。我々が活用できる社会資源をネットワーク化して制度の谷間にある人々の支援ができればうれしいですね。「農福連携を実行に移す会」が県下のあちこちで雨後のタケノコのように誕生することを願っています。



1月27日日曜日の親講座は香川ポレポレ農園の松田勝先生です。

日時 1月27日(日) 13:30~16:30 会場 東部健康福祉センター  
(高知市旭町葛島4-3-3 電話 088-882-9380)

★13:00 開場

★13:30~13:40 事務連絡など

★13:40~16:30 講義と休息 質疑応答 グループカウンセリング

個別面談 松田先生の個別面談は午前9時からです。

面談の申し込みは直接松田先生に電話で申し込んでください。(携帯 090-8695-0904)

駐車場が込み合うことがあります。

## やいろ鳥の活動カレンダー

◇12月は部屋が取れませんでしたのでサロンと親講座はお休みの予定です。

◆12月15日(土)役員会 場所:といろ 午後1時半から4時まで

◆12月24日(月)といろのクリスマスパーティー 小さなプレゼントを用意してあります。  
お昼を目途に始めますので、どなたでもご参加下さい。

◆1月6日(日曜日)家族サロン(聞き役:安藤さん) 会場:東部健康福祉センター2階研修室  
午後2時から午後4時半

◆1月27日(日曜日)親講座 松田先生 午前中は個別面談、午後1時半から4時半親講座。  
会場:東部健康福祉センター2階研修室

◆2月3日(日)家族サロン (聞き役:乾さん) 会場:東部健康福祉センター2階研修室  
午後2時から午後4時半

◆2月10日(日) 月例会 講師:石川智氏「ひきこもりのファイナンシャルプランと農福連携」

☆木工教室に新しく参加希望の方は担当の山本美香まで連絡下さい。TEL:090-5273-8974

### 地域ひきこもり支援センターでの相談などについて

ひきこもりに関する相談はどなたでも月曜~金曜に県立精神保健福祉センター ☎088-821-4966  
又は ひきこもり地域支援センター ☎088-821-4508 で受け付けてもらえます。庁舎は移転しまし  
たが(移転先は高知市丸ノ内1-7-36 興林会館4階)電話番号は変わりません。お気軽に相談や  
個人面談を申し込んでください。車は県庁の駐車場に止めてください。面談の場合は先ず電話で予  
約をとってから訪問するようにしてください。(無料)

## 年会費の払い込み

年会費は一家族3000円です。

現在は平成30年8月から平成31年7月までの年会費を集めています。

(家族サロンと親講座の会場でも未納年度分も含めて納入できます。)

振込先は 四国銀行 山田支店 (普) 0602101

全国ひきこもり KHJ 親の会高知県支部やいろ鳥 代表 竹中あおい